

自然と共生する
生業(なりわい)のまち、小松島市



FEEL! KOMATSUSHIMA CITY TOUR

小松島市で徳島を感じる旅



港のある風景
「こまっしま」の
情景

小松島市は、豊かな自然環境と四国屈指の天然の良港・小松島港を背景に、古くから港湾都市として発展してきました。ここには、源義経ゆかりの地を巡る義経ドリムロードをはじめ、四国八十八ヶ所霊場札所や金長たぬき像、阿波三峰のひとつ日峰山など魅力的な観光地がたくさんあります。そして、この地の漁業、農業、木材加工業などでは、それぞれの担い手の人々が環境に配慮した様々な取組を行うことで、自然と共生する持続可能な生業が営まれています。あなたも、「こまっしま」の人々が守り育ててきた情景が広がるこの場所を一度訪れてみませんか。

PICKUP CONTENTS

コンテンツの魅力

SUSTAINABLE



未来に繋げる、持続可能な海の幸を目指して

小松島産の「鱧(はも)」は昔から高い評価を受け、京都をはじめとする関西圏へ数多く流通しています。小松島の漁業者は豊かな漁場を守るため、漁業協同組合による掃海事業のほか、成魚になりきってない小さな個体や抱卵個体を海に戻すなど、水産資源の維持に向けた取り組みを行っています。また、小松島市は、小さな体に旨みが凝縮された「和田島ちりめん」の産地としても有名です。ぜひ、地元の飲食店や漁協直営店で小松島の「持続可能な海の幸」を堪能してください。

SUSTAINABLE



オーガニックビレッジ宣言。
環境と人にやさしい“あいさい一楽米”

小松島市では、有機農産物の生産人口を拡大させるとともに、多くの消費者が容易に有機農産物入手できる環境を目指し、2023年に「オーガニックビレッジ」を宣言しました。JA東とくしまでは、小松島の名産品しいたけの菌床を肥料として再利用したり、みみずやカエル、微生物といった生き物の力を利用した環境と人にやさしい「あいさい一楽米」を推進しています。産直市「あいさい広場」には、数多くの有機農産物が揃っていますので、ぜひ一度手に取ってみてください。

SUSTAINABLE



木を無駄なく活用する木材加工業

小松島市は、平安時代から阿波の「中の湊」と呼ばれ、水運を利用して上流から切り出された木材を紀州・大阪方面に積み出してきた歴史を有しています。現在においても多くの木材加工業者が立地し、「徳島すぎ」などの県産木材のうち、製材品にならないB級材やC級材についても合板やMDFとして、「まるごと余すことなく」活用しています。

PORT & FIREWORK



港のにぎわい、小松島港まつり

阿波藩から伝わる阿波花火発祥の地である小松島では、毎年7月に港まつり花火大会が行われます。約2,500発の多種多様な花火が打ち上げられ、数多くの屋台が出店して港のにぎわいを感じられる市内最大のイベントです。市内花火業者の花火作りは安全を第一とし環境にも配慮されており、「歴史と技術を継承」し続けてきた伝統ある花火は見る者すべてを魅了します。

SPIRITUAL



四国遍路に出かけよう。

弘法大師が母君とともに登山して孝養をつくされたことと伝えられる「恩山寺」と、聖武天皇の勅命により光明皇后の安産を祈願して建立されたといわれる「立江寺」を巡る四国遍路体験。恩山寺～立江寺までのルートは、歩いて巡礼するための距離やコースの安全性も含め、お遍路体験コースとして最適です。また、立江寺の絵天井は圧巻で、様々なハンドメイド作品を販売する「寺市」や、護摩行・ヨガなどの体験型ツアーなども実施されています。

FOLKLORE



スタジオジブリ作品のモチーフ！
金長たぬき

小松島市の金長神社は、民話「阿波狸合戦」に登場するたぬきの大將「金長たぬき」を祭る神社で、スタジオジブリ「平成狸合戦ぽんぽこ」のモデルとしても知られています。この神社は老朽化が進んでいましたが、2022年に地域の人々によって見事に修復されました。また付近には、市民憩いの場「たぬき広場」があり、世界一大きなたぬきの銅像が人々を温かく見守ります。この銅像の前で手をたたくと、あっ！と驚くことがあります。ぜひ現地でお試ください！

